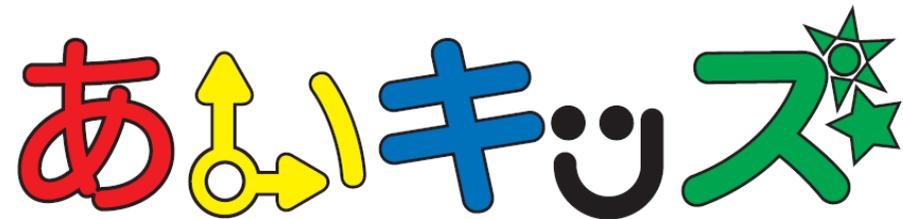


板橋区放課後対策事業 「あいキッズ」の取組みと課題について

規制改革推進室（保育・雇用WG）資料



平成30年11月1日
板橋区教育委員会事務局





「あいキッズ」に至る経緯

学童クラブ事業（～H26）

- ・ 直営と民間委託（H13から順次）の併存
- ・ 就労家庭等の児童（原則1～3年生）
- ・ 月額4,800円（おやつ代含む。）
- ・ 児童福祉部門が所管

板橋わくわくキッズ事業（H18・H19）

- ・ 全児童放課後対策モデル事業の（実施（2校））
- ・ 民間委託
- ・ 無料（傷害保険に加入：年額500円）
- ・ 児童福祉部門が所管

いたばし放課後子供教室事業（H20～H26）

- ・ 民間委託
- ・ 無料
- ・ 教育委員会が所管

国の動き

H19 放課後子どもプラン

H26 放課後子ども総合プラン



板橋区放課後対策事業 「あいキッズ」の展開

平成21年度に事業スタート（4校）民間委託

平成27年度に全小学校(現在51校、18法人)で実施

平成28年度に土曜日開所の実施

「放課後子供教室事業」（文部科学省 全児童 さんさんタイム）と
「放課後児童クラブ」（厚生労働省 就労家庭等児童 きらきらタイ
ム）とを「一体型」として運営

安全かつ校庭・体育館等の活用が可能で地域コミュニティの基盤である
学校内で実施

3つの柱（理念）

児童の放課後の安心・安全な居場所の実現

児童の放課後の活動と交流を通じた健全育成プログラムの実施

保護者の仕事等と子育ての両立支援





「あいキッズ」の特徴

板橋区内の全区立小学校で、同一の事業を実施

午後5時までの利用料は無料。午後5時以降も低額の利用料を設定

メール配信サービスで、日々の児童の来所・帰宅情報を送信(希望者のみ)

季節行事や季節の飾りつけなど児童の思い出に残るプログラムと空間づくりを実施

法人ヒアリング、責任者会議、支援員会議等を定期的に行って、事業の品質向上を推進

家庭・学校・地域との連携を促進



子どもたちを支える5つの輪

あいキッズで
子どもたちの
成長を支える

5つの輪



- ① **教育委員会**
運営方針を定め環境を整備し、評価・指導を行い、事業運営の品質の維持・向上を図ります。
- ② **民間法人**
社会福祉法人・NPO・株式会社など民間法人が特性を活かして、様々なプログラムや季節行事の実施、遊具・図書の充実、室内装飾など子どもたちが過ごしやすく、健全な成長に結びつく運営をします。
- ③ **地域**
「地域の子どもは地域が育てる」といういたばし学び支援プランの理念に基づき、地域サポーターが子どもたちの育ちを支えます。
- ④ **学校**
地域コミュニティの基盤である安全な学校施設を活用するとともに、学校と日常的に情報交換して子どもたちの「安全対策」と「健やかな成長」に取り組みます。
- ⑤ **家庭**
子どもの好ましい生活習慣や規範意識を身につける場である家庭と連携して、個々の子どもたちを育みます。



あいキッズ運営のPDCA

P ・ ・ 年間計画

- ・ 地域サポーター、行事、非常時訓練、保護者会、運営協議会、職員研修など

D ・ ・ 履行報告

- ・ 法人ヒアリング（年3回）
+ 課題顕在の場合は、解消まで実施
- ・ 定期点検

C ・ ・ 運営評価

- ・ 区、学校、利用者の総合評価
- ・ 利用者満足度調査（10月）

A ・ ・ 法人会議、改善指導

- ・ 指導 改善命令 再選定・解除



あいキッズスタッフの 最低配置基準(規模分)

1 さんさんタイム(放課後子供教室)

| 規模 | 平均利用者数 | プレイング パートナー | 施設数 |
|----|---------|----------------|-----|
| | 30名以下 | 2名 | 9 |
| | 31名~60名 | 3名 | 33 |
| | 61名~90名 | 4名 | 8 |
| | 91名以上 | 5名 | 1 |

2 きらきらタイム(放課後児童健全育成事業)

| 規模 | 登録人数 | 最低配置職員数 | | | | 施設数 |
|----|-----------|--------------|-------------|--------------|----------------|-----|
| | | 支援員 (責任者) | 支援員 (主任) | 支援員 (非常勤) | プレイング パートナー | |
| X1 | 40名以下 | 1名 | 1名 | 0名 | 1名 | 1 |
| X2 | 41名~80名 | 1名 | 1名 | 0名 | 2名 | 16 |
| X3 | 81名~120名 | 1名 | 1名 | 1名 | 3名 | 19 |
| X4 | 121名~160名 | 1名 | 1名 | 2名 | 4名 | 12 |
| X5 | 161名~200名 | 1名 | 2名 | 2名 | 5名 | 2 |
| X6 | 201名~240名 | 1名 | 2名 | 3名 | 6名 | 1 |

放課後児童支援員のうち、板橋区では常勤職員を「主任」としています。



あいキッズの方向性(平成28～30年度)

量の拡大 品質向上

職員の資質

魅力的な事業

利便性の向上 etc.

利用者満足度の向上

H29年度利用者満足度調査 85.3%



あいキッズ基礎データ

区立小学校数 51校

区立小学校在籍児童数 22,477名（H30年5月1日現在）

保護者の就労状況

（H30年5月実施 板橋区子ども・子育てニーズ調査より）

共働き家庭 46.0%

ひとり親家庭 9.5%

平成30年度教育関係予算

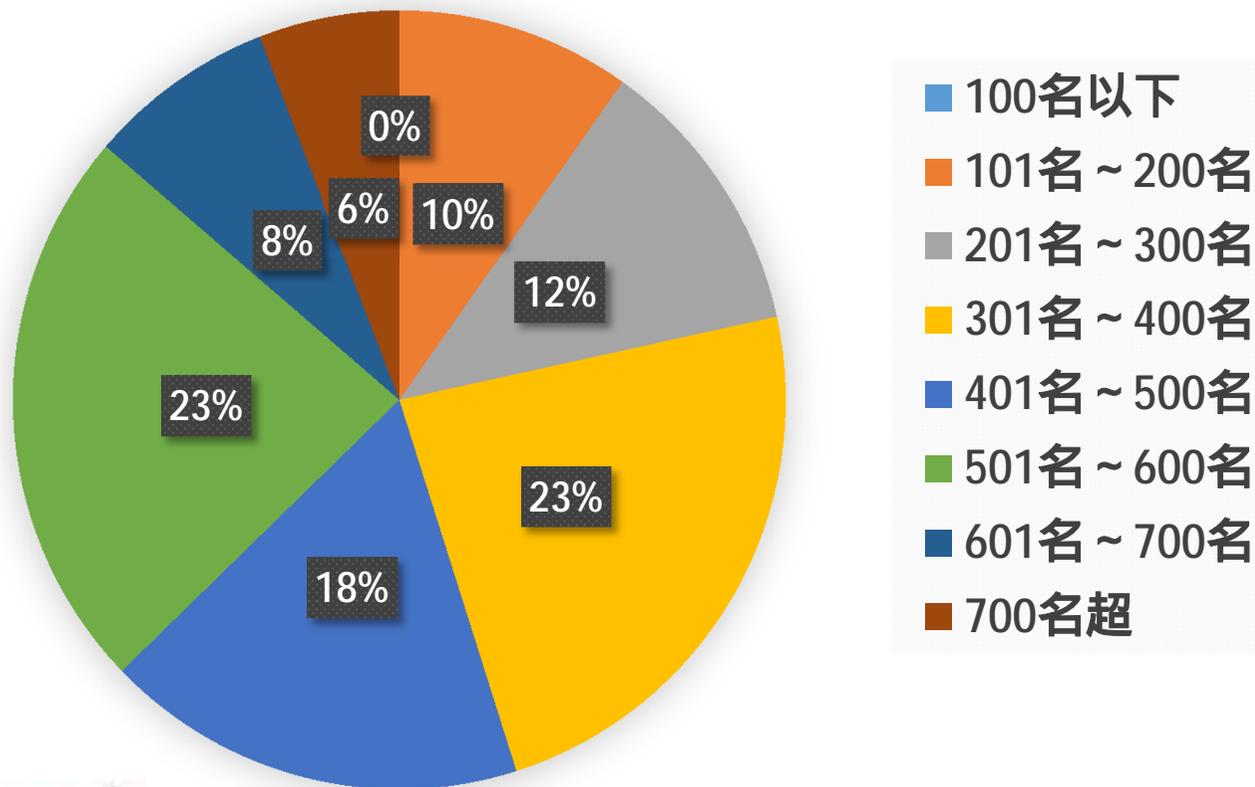
教育費全体 248億1,600万円

あいキッズ 19億4,000万円（内、特定財源6億7,300万円）



あいキッズ登録児童数

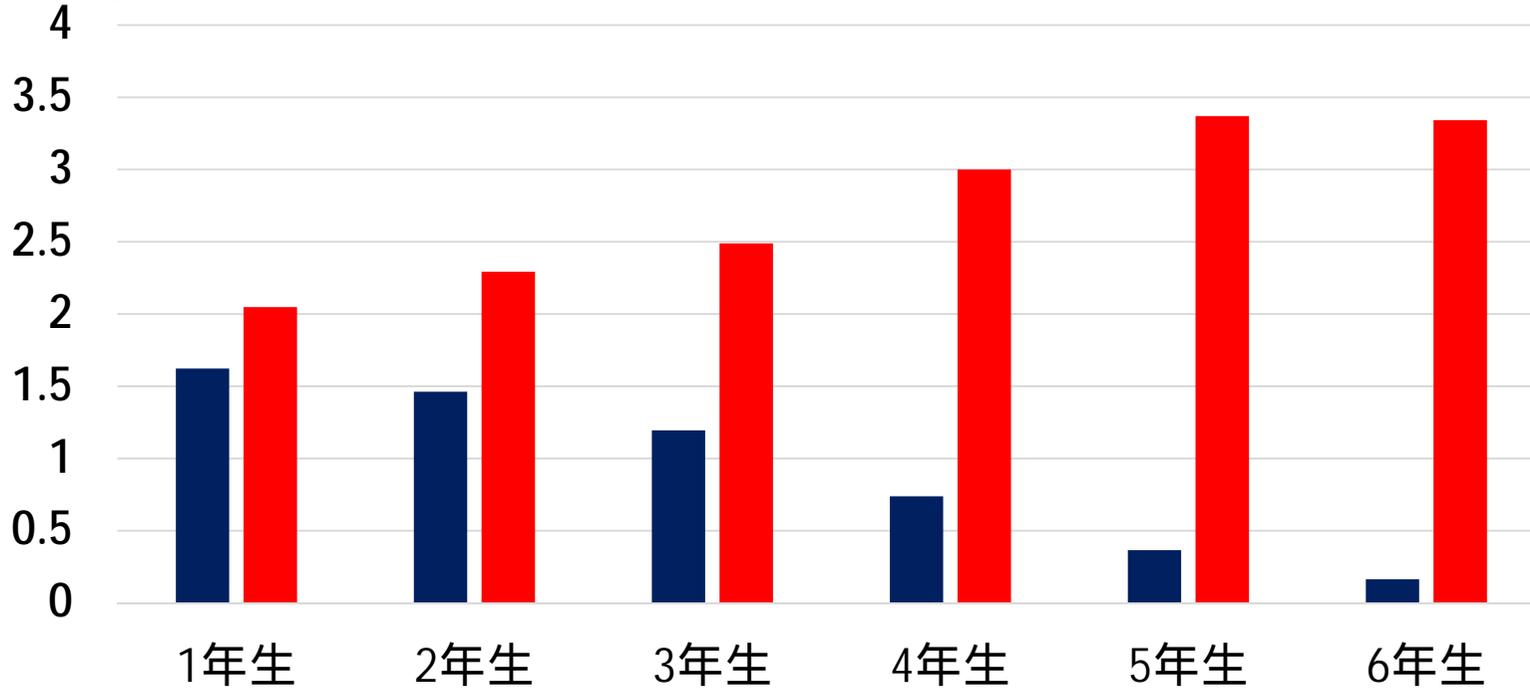
平成30年度あいキッズ登録児童数規模
(全51校・22,082人)





あいキッズ学年別登録児童数

単位:千人

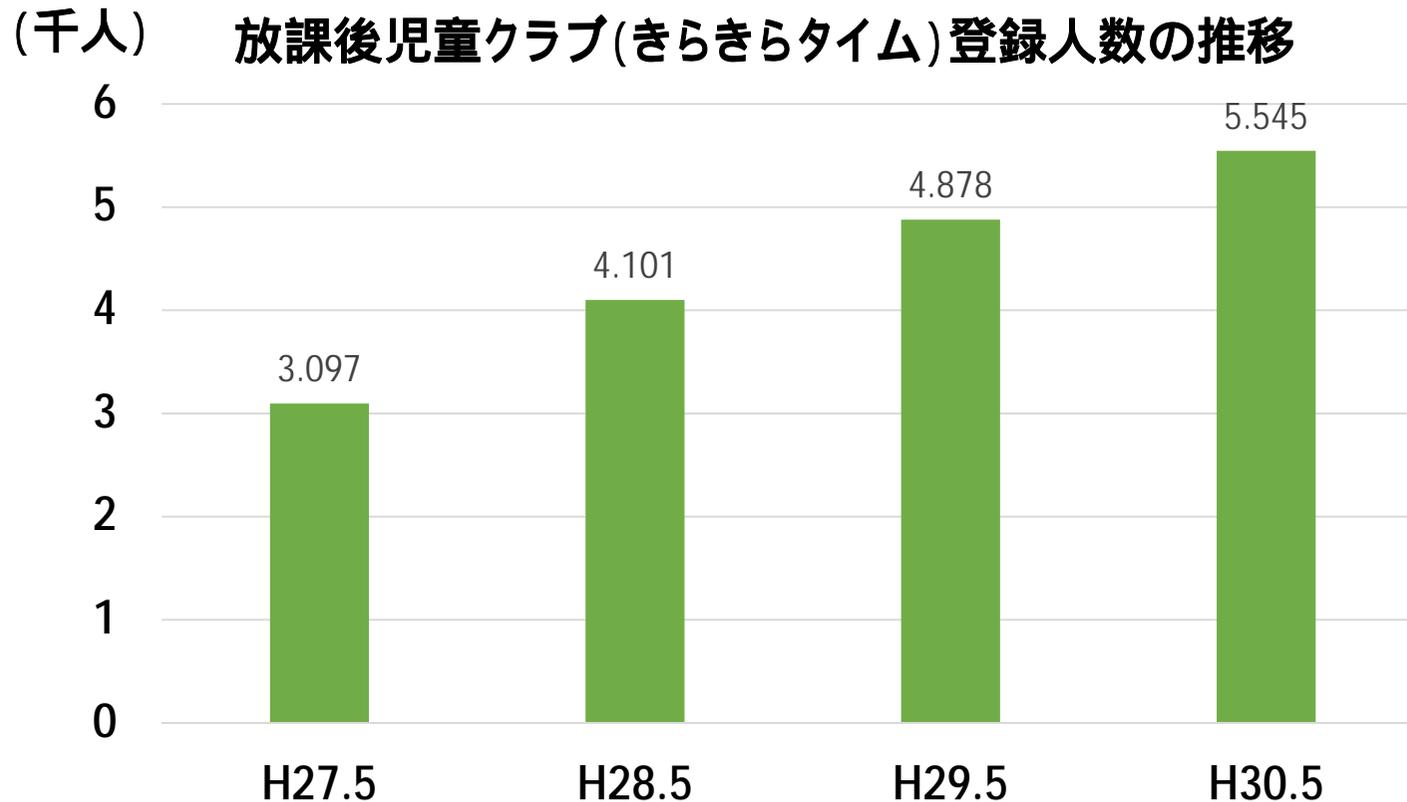


■ 放課後児童クラブ ■ 放課後子供教室





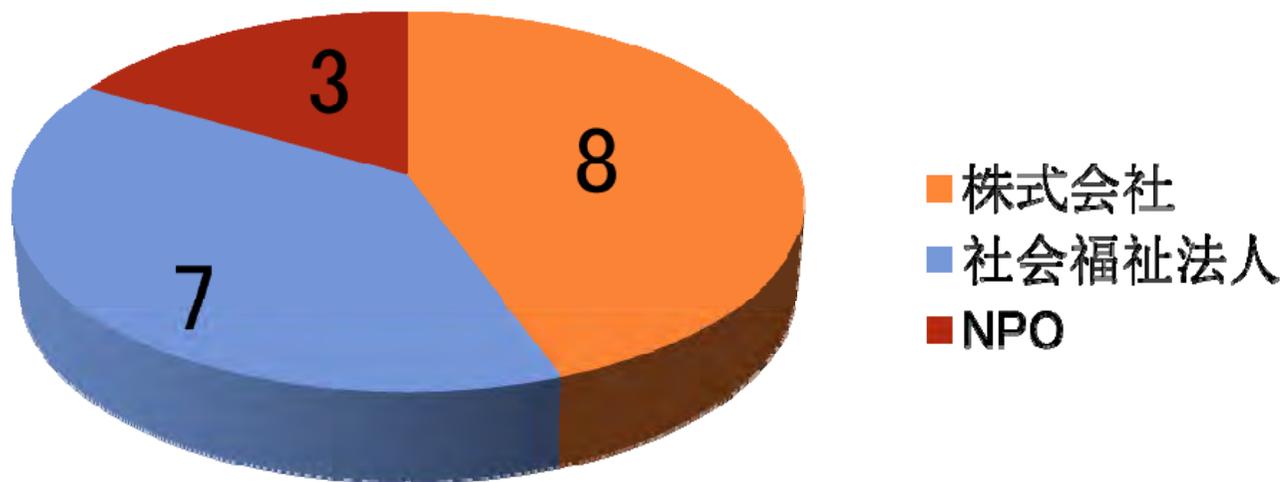
放課後児童クラブ(きらきらタイム) 登録児童数の推移





受託事業者の法人格

法人格の内訳

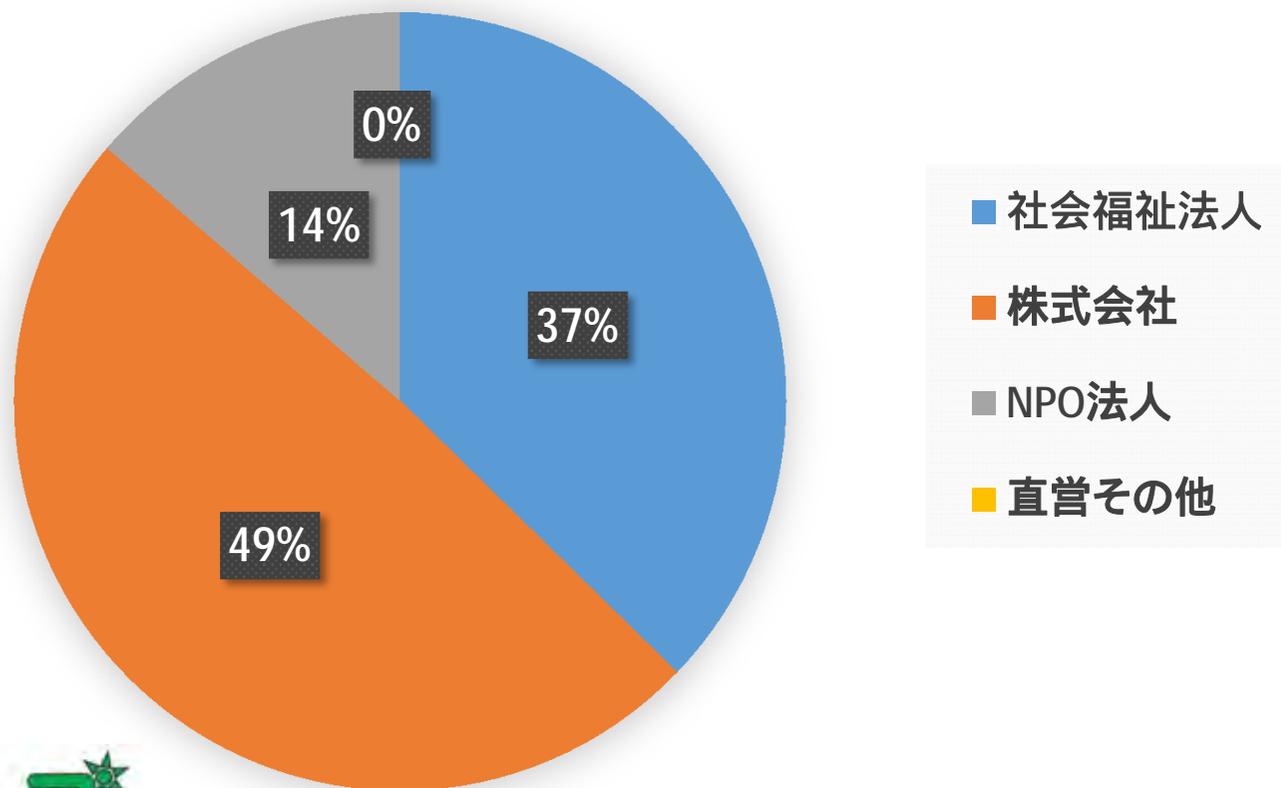


社会福祉法人が多いのが特徴



受託事業者の法人格

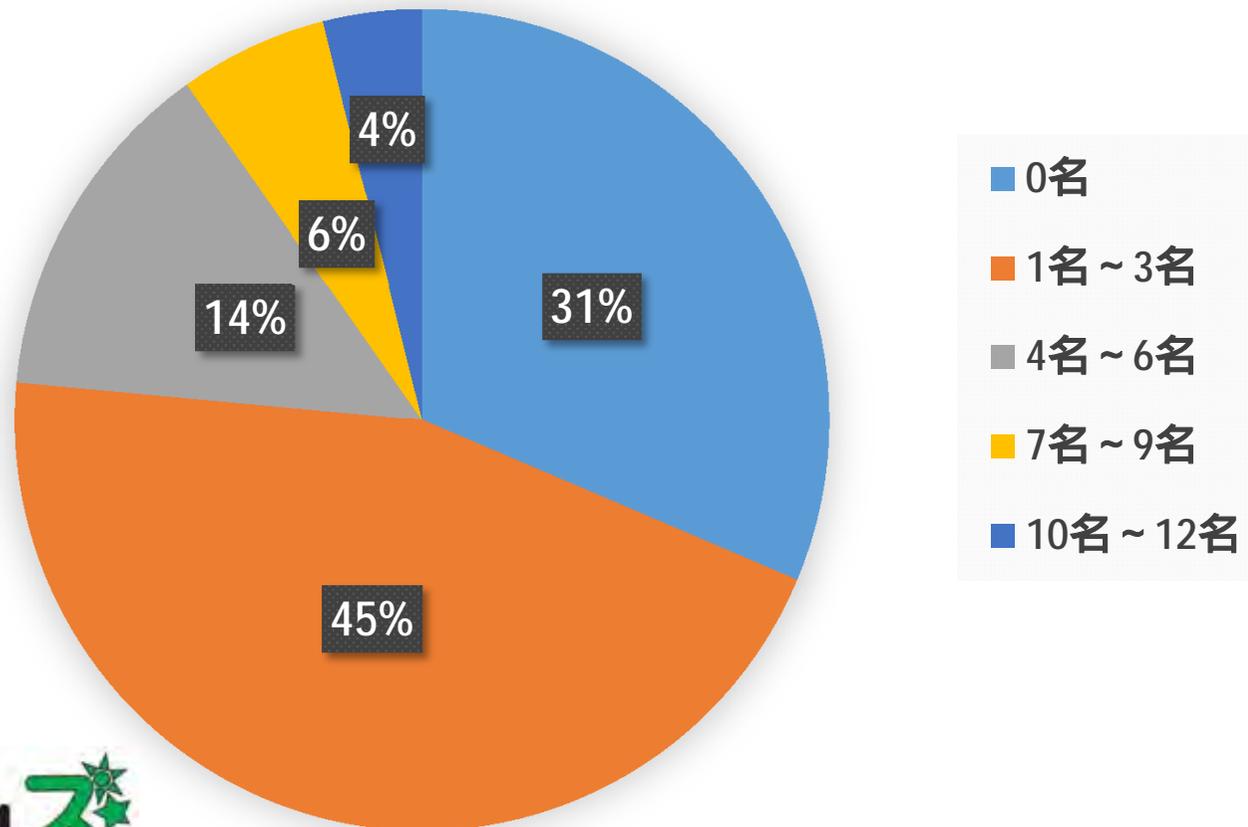
平成30年度あいキッズ法人種別受託状況
(全51校・18法人)





要支援・要配慮児童の受入状況

平成30年度あいキッズ要支援・要配慮児童
受入状況(全51校・121名)





あいキッズの成果

- 成果** 放課後児童クラブの待機児解消・
小1の壁問題の軽減
- 成果** 保護者の就労状況に関わらない
全児童の交流促進・安心、安全な
居場所の提供
- 成果** 学校教育と児童福祉・社会教育と
の連携開始



あいキッズ運営上の課題

課題 放課後児童支援員の確保

課題 活動場所の確保

課題 「一体型」の問題

課題 学校等との連携



課題 支援員の確保

現在の課題

放課後児童支援員の採用が困難。東京圏有効求人倍率5倍超
保育事業に人材流出。受託法人は保育事業にシフト
H31年度末までに支援員を確保するのは、厳しい。

原因

業務の質・量（支援が必要な児童・家庭への対応、入会事務、利用料督促、学習など）は増加しているが、給与面などの待遇は低い。
保育園と比べて執務環境（事務室、窓口、更衣室、男女別のトイレなど）の整備が遅れている。
体系的な研修体制が確立されていない。

考えられる対応策

待遇の改善 常勤職員の配置に対する補助 保育園保育士の処遇改善に対する補助と同等の補助
待機児の有無や新規施設であるか否かに関わらない拠点整備・環境整備に対する補助
障がい児対応などに見合った職員人件費の加算、補助基準額の引き上げ 保育園保育士の処遇改善と同等の補助



課題

活動場所の確保

現在の課題

ランチルームや家庭科室等だけではスペースが足りない。
学校では普通教室等の確保が優先。あいキッズの利用順位は低い。
学校敷地内に別棟を建設することも難しい。
敷地分割、増築は、学校の大規模改修に影響

現在の取組

毎年度、学校と文書にて活動場所を確認
学校施設開放条例にあいキッズの優先利用を明記
あいキッズ運営協議会（学校・PTA・保育園・町会・民生委員・青少年委員などで構成）で問題共有
学校配置調整担当部署と連携して、今後の児童推計を注視
毎年度、校長会で依頼

考えられる対応策

文部科学省から教育委員会、学校長への、学校施設活用に関する周知徹底
機械警備等の区画を整備するための補助金創設
放課後の活動を考慮した校舎の新築・改築



課題 「一体型」の問題

現状

両事業の「一体化」は、認められていない。
予算、契約、職員配置は事業ごとに煩雑。補助金の扱いも複雑。
子どもは、仲の良い友達と一緒に遊びたい。
放課後児童クラブの「生活の場」は必要であるが、学校（校舎・校庭・体育館など）を活用している以上、全児童対策は必要
教育委員会事務局内でも学校教育・児童福祉との垣根（予算・人事など）
事務の重複。施設改修、保守が後回し

考えられる対応策

「一体型」から「一体化」への緩和
放課後児童クラブに登録している児童の放課後子供教室事業への交流活動だけでなく、学校の施設を使用して一緒に遊ぶことができる。学校施設を現行よりも有効に活用でき、指導員も両事業の児童を見守れるようになる。
補助金を一本化することで、事務手続きも軽減される。



課題

学校・地域との連携

現状

個人情報保護を理由に要支援児童・困難な家庭等の情報が得られにくい(特に保育園・幼稚園)。

学校教育が優先の意識

学校行事の応援依頼。あいキッズ運営時間中の保守点検

考えられる対応策

関係機関相互における個人情報の外部提供の緩和

学校施設の放課後対策事業利用の規程の整備



放課後対策事業に関する提言

提言 放課後児童クラブと放課後子供教室を融合した法的根拠のある事業の確立と所管部署の一本化

提言 放課後対策事業に携わる職員の養成・社会的地位向上

提言 放課後の活動を想定し、セキュリティ等の管理面に配慮した校舎の整備